

IP NEWS

インテリアプランナーニュース

2001

VOL.

19

至札幌市街

至千歳空港

contents

- 新世紀へのご挨拶
- 特別企画
北の文化施設をのぞいて
- 新世紀への期待
- 21世紀のインテリア考
- ショールーム探訪
- 事務局だより

新世紀へのご挨拶

北海道インテリアプランナー協会 会長 中井 伸二



あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひ致します。「新世紀へのご挨拶」とは大仰なタイトルですが(これは佐野情報委員長のご指示です)、会員・準会員・賛助会員の皆様、そしていつも北海道インテリアプランナー協会(以下HIPA)を暖かく見守ってくださる方々へ、21世紀と協会設立10周年を迎えるに当たっての、ご挨拶とさせていただきます。[21世紀の幕開け・創立10周年を迎えて]と言うサブタイトルが付いたIPニュース記念号には、不似合いな内容になるかも知れません。皆様、どうぞご容赦下さい。

少し古いお話からさせていただきます。私が初めてHIPA設立のための幹事会に出席したのは、1991年(平成3年)10月の事です。情報専門部会の会合で、場所は南1条西3丁目・電車通りに面した三上ビル4階の西谷陶業さんの会議室でした。何人かの方のお顔は存じ上げていましたが、協会設立の主旨も目的も分からないままの参加でした。当時はここまで協会に関わる事になるとは、考えてもいませんでした。

既に9月には北方型住宅情報プラザで設立発起人会が開催されており、あとは専門部会での活動計画、名簿作成、協会規約の素案作り、旗揚げに向けての日程調整等が、幹事会に残された課題でした。幹事の皆さんは文字通り手弁当で頑張り、1992年4月14日のホテルKKR札幌での記念すべき第1回総会を迎えます。設立時の正会員数は162名でした。

「インテリアプランナーを世間知ってもらいたい」「IP資格者相互の情報交換、親睦を計りたい」と言う会員がほとんどで、ビジネスメリットを期待した入会者は少なかったと思います。この良き(?)伝統は今も続いている様で、「HIPAの集まりは肩が凝らない」「気楽で楽しい」と言って頂けます。お付き合いや仕事関係での入会が多い他の協会や団体に比べると、確かにHIPAの雰囲気は違います。何か「異質」な感じがします。不干涉、無性格、ドライなスマートさが美德とされる時代に、無遠慮、お節介、オジ(オバ)ギャグ、老人力をベースにする協会は確かに「異質」と言わざるを得ません。私は「異質」さは、わが協会が誇れる唯一の特質だと思っています。(これも異質が故の強弁でしょうか?)。

「継続は力なり」と言います。一口に10年と言いますが、このIT時代における10年は少し前の20年にも匹敵します。21世紀、情報・医療・科学・機械分野等の技術は、かつて人類が経験した事のない程の発展を遂げると言われています。21世紀の100年間は過去500年の長さの相当するのかも知れません。果たしてHIPAのこの10年間の活動に、どんな意味があったのでしょうか。思いは複雑ですが、10年間の持続は今後の活動の糧になり、大きな自信にも繋がります。協会の年間事業は以前の継承で、特に目新しい内容もありません。運営や会員の交流にも徐々に緊張感が薄れています。素晴らしいマナーでも呼ばば良いのでしょうか。協会が10年の継続をバネに、次のステップへ進むべき時期に来たのは事実です。

皆様のお叱りを覚悟で正直に言いますが、実は退会を考えた事があります。身勝手は重々承知の上で「何故ここまで」と自問自答もしました。そんな時は、初代の事務局長・一宮さんと現事務

局長の山田さんの事を思い浮かべました。お二人のご苦労は筆舌も及ばない程に大きかったと思います。時には身を盾にして協会を守って来られました。私が退会もせずに10年間来られたのも、お二人の姿勢や言葉、近くで見たり聞いたりさせて頂いたお陰です。一宮さんは既にお亡くなりですが、一宮さん、山田さんには心から感謝申し上げます。

又、長い年月の間には色々な事がありました。時には意見の食い違いもありました。しかしそれも協会のためを思つての議論ですから、仕方がありません。今後も協会運営には様々な紆余曲折が予想されます。幸いにも会員の方々は少々「異質」ですが、思慮分別がおありです。まず、理事会や委員会が、会員の意見を広く汲み取る努力をする事が大切です。十分に「異質」でさらに自由な協会を目指したいと考えています。前会長の杉山さんはソフトで柔軟なお人柄の方ですが、強い意志とリーダーシップで協会の進むべき方向を示されました。それに比べ私は相変わらず皆様のお荷物で、本当に恐縮しています。今年一年で私の任期も終わります。せめて積み残しを少しでも減らし、次の会長さんにバトンタッチ出来たらと考えています。

個人的には21世紀初年の感慨より、昨年2000年のゼロ数字の並びの方がインパクトがありましたが、とにかく今年から新しい世紀が始まります。「新世紀の幕開け」です。ところが新世紀になっても、世の中全てが一新される訳ではありません。北海道経済の先行きは相変わらず霧の中で、さっぱり見えません。会員の方々のお仕事にもさらに厳しいストレスが掛かる事でしょう。「そんな時に何を覚悟した事を！」とお慶立ちの方もいらっしゃると思いますが、敢えて言わせて頂きます。21世紀最初の年、HIPA設立10周年を迎える今年、どうぞ皆様の新しいお考え、前向きなご意見、熱い声をお聞かせ下さい。協会設立時の原点に戻り、もう一度会員のための協会を作りましょう。「入って良かった」と誇れる有意義な協会にしましょう。

HIPAは全国10地域のIP協会の中で、活動期間の一番長い協会になります。しかし、ただ長いだけでは意味がありません。その活動の長さに恥じない立派な内容が必要です。新生HIPAに、さらなるご指導、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

最後になりましたが、今年(21世紀)が皆様にとり、素晴らしい年(世紀)になる事をお祈りして、私の年頭のご挨拶にさせていただきます。ありがとうございました。

ミッキーの年齢わかりますか?

総務委員長 土井 れい子



さあ、新世紀の始まりです。20世紀は、アメリカ大統領選の混乱! 日本政府の内乱! と後半になって少々ゴテましたが、これも世紀末のせいなのかもしれません。21世紀の政治は本当にこの偉い政治家先生にお任せしてもいいのかなと不安を感じないわけでもないのですが、餅屋は餅屋...とおまかせしましょう。「コンサート・札幌」が優勝・11昇格、「コンサート・ホールキララ」の世界的評価と、お気に入りがかんばってくれて私的には、気持ち良く20世紀にさようならができそうです。

「新世紀へのご挨拶」は特別ありません! が正直な気持ちです。い

ままでも、今日が一番良い日！と思いながら過ごして来ましたので、そのように続けていけたら幸せだと思ってます。そして、チヨットだけドキドキ。ハラハラ、する事に会えたらもつと幸せかもしれません。

今期、総務委員の仕事を担当する事になりまして、総務の「一大事業・名簿改訂」を体験しました。名簿の原稿依頼/原稿作成/表紙の色きめ/校正/校正とすべてが初めての経験、緊張と心配が一杯でしたが、結構ドキドキして楽しかったです。総務の良き仲間と先輩に感謝してます。

それともう一つ、一年おきに「大好きなディズニーランド」へ行けたらいいなと思ってます。そのディズニーランドの主人はミッキーマウスです。ミッキーの年齢はわかりますか？ 1928年11月18日に公開された「蒸気船ウィリー号」に登場し、たちまち人気者になったそうです。ですから、ただいま72才！です。彼の信条は「可能な限り最善の努力をする」事だそうです。ミッキーにくらべたらまだまだ若輩者の私です。ミッキーのように「最善の努力」をわすれないでいきたいとおもいます。

まずは個人や家族の小さな単位で

交流委員長 新田 信昭



平成12年度の交流委員会では、4月と11月にボウリング会、8月にゴルフコンペを行いました。4月のボウリング会は、(株)サンゲツ柴田さん、11月は土井れい子さんが優勝しています。両会とも約20人の参加で表彰式後の食事会、有志での2次会と結構盛り上がりがあった様です。いつもお手伝いしてくれています、ニッポウコーポレーション(株)浅利さんのおかげだと思っています。8月のゴルフコンペは、壮絶きわまりないコンペになったのを、知っている人は少ないと思いますが、この日(8月29日)は、大変に暑く、いわゆるドピーカンとなり熱射病にかかる人が出てもおかしく無い天候になりました。私も腰痛を押しての参加で、いつ動けなくなるかわからない状態でのプレーでした。そして今回は、ヤマギワ(株)高野さんの4連覇がかかっていましたが、それを小野悟副会長が命がけて(これは本当です、心配しました)阻止し、見事優勝しました。また、女性の部では通々小柄から御夫婦で参加してくれた田中恵子さんが、男性を上回る成績で優勝しました。おめでとうございます。日頃大変お忙しい中、参加して頂いた皆さんに感謝します。しかし、参加者の顔ぶれが、だいたい固定化してきているのが少し寂しいなどの思いです。今後のみなさんの参加をお待ちしています。

それはさておき、この原稿依頼は各委員長の事業報告を交えた「新世紀への御挨拶」について400字詰め原稿用紙3枚とありましたが、私にはあまりにも壮大なテーマなので思わずグーと唖ってしまいました。21世紀へのビジョンとか、新世紀に向けて環境を考えると、IT革命とか…良く言われていますが、たまたま数字がまるく揃った程度(ただの通過点)にしか思っていない私には、とてもムズカシイ話なので、そうゆう挨拶は「なんだかな〜」なのであります。

それでも、HIPAの会員の一人としてなにか喋りなさいと言われるならば、最近のテレビCMを見れば大半は、携帯電話、高利

の金貸し屋(無人の機械でお金を貸してくれるらしい)ばかり。皆が勤めるインターネットは7割がアダルトサイトらしく、パソコンから銀行振り込みなど出来てしまう。(銀行ほど信用出来ないものはないと思っている私は、せいぜいキャッシュカードでの振り込みです。それに銀行の窓口の方が、綺麗なお姉さんがいっぱい居るかもしれないし?) 朝の散歩をバーチャルで体験しても、清々しくは絶対ないですよ。どんどん技術が進み便利になって行くのは、とても良い事なんだけれど必要の無い時は人間の出来る範囲で行動した方が良くと思う。人の顔が見えなくなると言うのは、全てにおいて、やっぱり調子が悪いなと思います。私達が関わっている分野にも言える事で、どんな人がデザインしてどんな人が作っているのか、それを誰が気に入って使うのか、それをどんな建物に入れるのかと言う事。それも出来る限り長いサイクルで。私が知る限り量販店で、売られている物は、何年か後には飽きが来たり壊れたりして、ゴミになる様にしか思えない物が、氾濫しているように思われます。去年の11月に展示会(カンティハウスさんのワインパーティー)に行った時に「アルフレックスと私とイタリア」と言う本(定価2500円もする)を頂きましたが、いつも自分が考えている様な事が、書かれていて、そうなんだよなと共感する所が多々ありました。もしかして、まだ頂ける(家具を買えば?)かもしれないので読んでみて下さい。

まずは個人や家族の小さな単位で、自分達のライフスタイルを創り、それが広がって行けば、気持ちの良い世の中に成りそうな気がします。今は、世の中全てにおいて、ちょっと疲れ気味ですが、建築やインテリアやデザインに関わっている身近な範囲で、少しでも、誰かの役に立てれば良いなと思っているこの頃です。

気持ちを新たに

事業委員長 佐藤 利明



皆様、明けましておめでとうございます。今年も旧年が変わらずご愛顧の程宜しくお願いいたします。又、日頃事業委員会の活動にご理解をいただき誠に有り難うございます。今年も皆様方のご活躍の一助になるような事業活動を行いたいと考えておりますのでご協力ご参加の程、宜しくお願いいたします。さて、21世紀になりました、皆様方はどのような21世紀をお迎えになられましたでしょうか。振り返ってみますと1900年代(20世紀)は色々有った時代と報じられております。戦争の時代とか急激な進歩の時代とか環境破壊の時代とか様々です。自然の恵みから我々人類は発展してきたはずですが1900年代の後半僅か2,30年で自然を破壊し環境を破壊し始めました。その事に気付いた時は20世紀が終わり、今世紀へと移りました。

年が明けると「気持ちを新たに」と例年思うのですが今年は一味違う気持ちで望みたいと思います。皆様方は如何でしょうか。

我々が携わっている仕事はインテリアですが環境の事を外して語れない時代になりました。環境と言ってもロケーション、空間、地域など従来のそれに関する事ではありません。その環境に係わる人々が如何に心地よく、楽しく、健康で、いつまでも居心地良く過ごせるかを考える環境です。パリアフリー、ユニバーサルデザインなどは20世紀後半に認識されていました。21世紀のス

ートは「健康な環境」と言うもう一つ大きなテーマで考えていきたいと思っております。

21世紀はこのテーマが色々な場面で論ぜられる事でしょう。例えばホテルの予約一つ取ってもインターネットで世界中の「心地よいホテル」、「元気が出るホテル」、「セラピーホテル」等を選択条件にして人々は利用します。これはもう一般的な事です、空間をデザインするには避けて通れない事となるでしょう。

様々な立場で色々な皆様方から頂き、より楽しい、より健康的な空間作りを目指しインテリアプランナーとして社会に貢献していきたいと考えております。是非ご理解いただき、本年も事業委員会へご協力の程を宜しくお願い致しますとともに会員、賛助会員の皆様方の益々のご発展とご健勝を心からお祈りいたします。

レゾン・デートルある協会に

情報委員長 佐野 高光



21世紀と北海道インテリア協会10周年という記念となる新世紀の幕開けにふさわしい新年を迎えて、IPニュースの発行に際し原稿執筆いただきました、会長始め各委員長、情報委員会の皆様のご協力と行動で、初体験の新世紀号を発行出来たこと、紙面をかりてお礼申し上げます。

つい先月までは、世紀末という人間界の一つのくくりと、長期にわたる景気のリセッション(景気の後退)という試練は、我々の生活空間に大きなダメージと同時に、次世代への多大な資産を残してくれたと思いますのと、それを引き継ぐ我々の責任と試練を試させられるレゾン・デートル(存在価値)ある協会になることを目指し、IPニュースでの活用、利用を会員間での情報交換の場としてコミュニケーション紙上になる様、会員の皆様方のご意見、情報を頂き、賛助会員様からの情報とご協力もお願ひ致しまして、読める、見れることを心情に、心新たに、新世紀の幕開けを慶賀致しますので宜しくお願い致します。

小熊が冬眠から目覚めますよ

函館支部長 田嶋 英人



新世紀の幕開けが、資格制度の変更から始まるとはなかなか感慨深いものがあります。当時函館でも、資格制度の変更の声を聴くやすかさず退会との動きが現われた。何とも現実的と言うか正直と言うか、自分の心を見透かされたような切ない思いで退会の弁を聴いた。この資格は後生にまで存続させる価値や意義は如何にと自問自答するこの頃である。会員諸兄に於かれましても同じ思いをされた方もおられるのではと思ったりもしています。此の機会に、この資格の意義や価値を再構築し、組織活動する価値観を探る事が次なるステップへと繋がるものと自分に言い聞かせています。そんな迷いが小生の行動も鈍くし、支部活動も停滞したまま2000年もやり過ごそうとしています。品種法が出来て建築基準法が改正され、建築業界全体が下克上の戦国時代に突入。新世紀は、若獅子と老獺な軍師が入り乱れ、さながら戦乱絵巻を眺

める時代と化するのではないか。

そんななか、IP協会は白馬に誇がり闊歩していれるのか、或いは正念場を迎えるのかは偏に我々の今後の活動にかかっていると自覚している。新鮮な血液を維持する事は老兵にとっては輸血しかないのかもしれない。資格制度の変更による資格放棄者の増加を視野に入れ、資格を保持し続ける者には新たな知識を武器として戦いに挑める組織が求められる。継続教育によるレベルアップと密度の濃い作品づくりが、IP資格の保護となりまた高いハードルとなり社会認知の高い資格となる。その為にも、職能の証としての任意資格として高い能力を求める組織となる必要がある。仕事をしない資格者は返上を。

こんな事を考えながら、支部活動に思いをめぐらせれば自省の念にかられてしまいます。まづは、意志の疎通から始まる21世紀と心掛け、初心に却って作戦会議から始めようと思意を固めています。精神年齢を口にするご同輩と一献傾け、充実の世紀を如何に創り上げるか相談をしよう。何か、力技で世間にアピールすることを実行する歳にしたいと思えます。支部の皆さん、小熊が冬眠から目覚めますよ。

積極的に参加

旭川支部長 富居 博二



皆様、明けましておめでとうございます。21世紀の幕開けとプランナー協会設立10周年を迎えられる記念すべき年に、あらためてお慶び申し上げます。

近年の経済・社会情勢は新たな世紀へと時代が転換する中で、プランナーを取りまく社会環境や職能内容が変化しつつあります。私たちは、尚一層職能意識を高め頑張っていかなければならないと思えます。今日まで旭川支部会員14名として、白金インフォメーションセンター・市民ふれあいセンター・三浦綾子記念文学館・旭川聖苑等の見学会を行ってまいりました。特に、白金インフォメーションセンターは赤レンガ賞、三浦綾子記念文学館は建築士賞を受賞しました。

今後の活動として、札幌での見学会・行事に積極的に参加するとともに、旭川支部として見学会・親睦を計ってまいりたいと思っておりますので、今後共御協力下さいます様宜しく御願ひ申し上げます。

最後に、IPニュースの編集局の方々に心より御礼申し上げます。

IT時代の技術者の技

帯広支部長 所 貞芳



除夜の鐘とともに新世紀の幕開けを迎え、何か新たな発展に期待をもって初夢を見られたのではないのでしょうか。

私達、帯広支部は帯広市教育委員会所轄のプラザ、エンジョイスクール「豊かな住まいづくり」講座の講師を委嘱され、メンバーで分担して運営しており、現在は第九期として11月より3月まで毎月2回、10講座を担当します、各期の受講者は10名前後

で受講者からの口コミの方が多く、失敗しない住まいづくりの転ばぬ先の杖として熱心に受講され、具体的な質問が多く、和気藹々とした講座で、その後受講生が建てられた作品を見せていただく度に講座担当者としての責任の重さを痛感すると共に喜びを噛み締めております。

建設業界は昨年施行された、住宅の品質確保の促進等に関する法律によって、量から質への時代に移行するとともに、住宅建設は地場産業の時代を迎え、地元が頑張る時が来ました。

新世紀はIT革命の時代といわれ、我国は固より世界中が時代に乗り遅れない様にと研究に余念がありません。業界でもノート形パソコンの普及によりCADで平面プランから展開図にいたるまで三次元で提案して見せたり、Eメールやインターネットを活用して居乍らにしてセールスをする時代になって来ました。インテリアプランナーはCADを操作するオペレーターになるのでしょうか。私は生きた化石といわれる年代になり改めて図面を見直しております。機械で書いた図面はどの線も画一化され美しい出来映えですが情感や暖かみ、深みが感じられず質感に乏しいように思われます、人の手によって書かれる図面は時間ロスが多いとはいえ、一本一本の線に違いがあり、感情や暖かさ、優しさが表現されており技術者の人柄が映し出されて、オーナーの求める価値感溢れる作品を提案する事が出来るのではないのでしょうか。

人の感性を的確に伝えるにはどの手法が望ましいのか検討してみたいと思います。

私達がインテリアプランナーとして技術料を頂く場合にCADで簡単に出された図面と目の前でフリーハンドで説明され、手書で作図された設計図書ではどちらが技術料としての価値があるのか考えさせられる、私は古いのもかもしれないが後者でありたいと願っております。

91年に協会が設立されて以来ご指導下さっている役員の皆様へ感謝を申し上げます。

インテリアプランナー資格を社会に知っていただくには消費者協会やエンドユーザーの方を対象とした市民講座等の開催により地道な活動を根気よく継続する以外には無いのではないのでしょうか。北海道で灯した火を全国に灯した情熱でHIPAの発展に努力したいと思います。

“i” 愛の世紀に

北見支部長 式部 佳和



いよいよ21世紀を迎え、北海道インテリアプランナー協会北見支部の四銃士は、新しい世紀にインテリアの花を咲かせたいと思います。

IT時代の洗礼を受けて、e-○○やi-○○といわれるけれど、インテリアだってイニシャルは“i”なのです。

世の中はインターネット一色のような時代で、たしかに便利になってきました。自分の家で仕事をしたり、ネットに接続して資料を取り出したり、ほんとにいろいろなことができるようになりました。連絡事は、e-mailで送れば、もらった方は転記をする必要もなく手配書にドラッグ・アンド・コピーして段取り終わりとか。ファクシミリが出たときにはこんなに便利に使うとは思って

もいませんでしたし、いまや電話よりも必需品かも知れません。パソコンは、鉛筆よりももっとも大事なものになってきています。携帯電話とノートPCとプリンターとデジカメがあれば、事務所も要らないかも知れません。ワンボックス・カーにこれらを積み込んで現場へ出かけ、そこで監理をしながら仕上げていく。お客様とは小奇麗なホテルのロビーで打ち合わせ。朝礼の代わりにインターネットのホーム・ページを覗いてスケジュールや連絡事項を確認し、メンバーのサブ・ページで進捗状況のチェックをして。それから、それから。そんな仕事振りが当たり前になったりして。

ノートPCを買った。スキャナーも解像度高いゾ。カラーもきれい。仕事をする環境は整いました。さあ、後は仕事だ。

変革のスピードはドックイヤー

総務支部長 三浦 啓



21世紀を迎えました。いつもの新年の挨拶ですと今年の抱負と言ったところでこの一文も済むところですが、今年2001年、協会創立10年の節目、ここは10年の抱負、今世紀100年を考える年です。

しかし、今年1年の抱負すらまともに持ち得ない身としては10年はおろか100などとも考えは及びません。前世紀一つい数十日前ですが相当昔のような気がします一を考えてみただけでもその変貌は想像を絶するものでした。そこで思い出されるのは20世紀の映画の傑作のひとつであろう、まさに今年を描いた「2001年宇宙の旅」です、たとえばその中で地球と月の定期シャトルの運行をしている会社がとつくになくなってしまった航空会社のパンアメリカン、20世紀を代表する小説家のアーサー・C・クラーク、映画監督のスタンリー・キューブリックをして、実現していない、月への定期シャトルや、精神病になってしまうほどの知能を持ったコンピューターHALを想像することはできても、実際にあった巨大な航空会社パンアメリカンがなくなってしまう一それに類することは世紀末の日本では数多くありました一ことなど思いもよらなかったのだと思います。

また、最近の仕事や生活に密接に関係する、時代の象徴であるITの世界では変革のスピードはドックイヤー(犬の1年は人間の7年に相当するそうです)といわれ7倍のスピードで変わっていくそうです。ということは14年も経つと20世紀の100年分に相当する変わり様ということですよ。

これほどの、変革のなかで自分自身の仕事がどのようになっていくのかまったくわからない時代となっていますが、システムやツールがどのように変わっていかうとも、最後の部分では、「人間対人間」それはもちろんEメールではなく直接対する人間関係ではないかと思えます。設計やデザインに携わる人間としてそれを表現したり伝達する手段がコンピューターに変わろうとも、「クライアントとの直接の対話こそが最重要ではないか」と、10年一日のごとく考えてしまう21世紀のはじまりです。

日高



神田日勝記念館

河東郡陸奥町東町3丁目2 ☎01566-6-1555

開館時間●午前10:00~午後5:00
(展示室への入場は午後4:30まで)

休館日●月曜日(祝日が重なる場合は閉館)
年末年始(12月30日~1月3日)

観覧料●一般/510円、高校生/300円
小中学生/200円、(団体/1人50円割引)

北海道には二人の異色画家がいた。一人は積丹半島の港町岩内の漁夫・木田金次郎であり、もう一人は十勝原野の開拓農家の二代目・神田日勝である。

(鈴木正實「神田日勝の世界」図録より)

建物が日高山脈の全景にピッタリマッチしていました。あの新聞記事が印象的です。



富良野演劇工場

富良野市中御料 ☎0167-22-3800

富良野演劇工場は、昨年10月にオープンした創作者のための劇場です。大道具、小道具、衣裳、照明、音響、演出、演技など、そこで夫々が模索しつつ、観客と共に模索しながら、一緒に舞台を創りあげていく空間です。“富良野にまかれた演劇の種を富良野

市民として育てていきたい”というたくさんの人の思いから、富良野市が建設し、日本初のNPO法人「ふらの演劇工房」が運営にあたる全国初の公設民営の施設として注目を集めています。



富良野

北海道デザイナー専門学校

〒001-0018 札幌市北区北18条西3丁目
TEL.011-746-9301 FAX.011-746-9334

北海道デザイナー専門学校は時代の要請に応じ、人と地球環境の共生を基本とした真に豊かなヒューマンライフを実現することのできるデザイナーを育成する創立32年の伝統校です。全日2年制のグラフィックデザイン本科、インテリアデザイン本科、福祉環境デザイン本科を軸に全日1年制4学科、夜間6学科で構成しています。



現在、インフォメーションテクノロジー(IT)の発展、急速な活用により日々の生活、レジャー、仕事とあらゆる面で便利な世の中になった反面、ふと気が付くと人と人との関係、絆を知らず知らずのうちに弱めているように思います。

私が専門としている環境デザインにおいてはエクステリア、ガーデンニング空間と、インテリア空間を人間の心理、行動に基づいてデザインし、又フレキシブルな家具をデザインすることで自然なコミュニケーションを育ませたり、また大部分の人が生活時間の90%を室内で過ごすといわれる中、インテリア空間に植物をレイアウトすることで植物の物理的な効果—IAQ(室内空気の質)の向上を助ける空気浄化—や心理・生理的效果—五感を刺激することでコンピューターの使用などによる目の疲れ・日々のストレスを癒す—を積極的に取り入れることが環境づくりをする上で重要となるでしょう。こうして“コミュニケーションの生まれる空間”をテーマに美しさ、快適さ、安全性を追求しこれからの時代に忘れてはならない自然との共生、エコロジカルデザインを含めた「人と人とのコミュニケーション」「人と自然とのコミュニケーション」を考慮したデザイン教育を学院では行っていこうと思っています。



学生アンケート



21世紀のデザインとは？

- 地球に優しい
- 人に優しい
- 明確なものであるべきだ
- 単純なもの
- エコロジー
- 無駄のないもの
- 調和、周りのものとの調和
- 自然の力、自然との共生
- 新しい光を与えるもの
- 未来への希望

あなたにとってのデザインとは？

- 欲求
- 夢の実現
- 自己表現
- 心地よいもの
- 哲学
- 快適さ
- 生活を楽しくするもの





このごろ、どんな壁の色が仕事の能率を上げるとか、疲労度を増すとか、研究が進んでいるやうだが、私は人間の神経は、壁の色によって左右されるほどヤハなものである筈がない。いや、あるべきではない、といふ考えである。又、椅子一つでも、むやみと快適な角度や柔らかさが重要視されているやうだが、私は背の直立した固い椅子ほど、健康によい、という考へである。

装飾品にはつとめて対のものを置くやうにすること、壁面は余白を少なくして大きくなるたけシンメトリカルに飾ること、色は、金・白・緋・紫などを基調にすること、見ているうちに目はチカチカ頭はカッカとしてくるやうな具合に装飾すること、……これが私のプランであり……

三島由紀夫（わが室内装飾）／列冊婦人公論
昭和37年1月25日号



21世紀のインテリア考

目はチカチカ頭はカッカとは何だ!?

情報委員 里見 好枝・山下 和良

かつてインテリアが室内装飾と呼ばれていたとき、それはお金持ちや一部の人の高貴な趣味の世界のものでした。その後の戦後復興、高度成長という時代の流れの中で、国民の住居空間拡大、機能革新が進み、やがて生まれた我々の余裕はインテリアに向けられ始め、大衆文化になりました。そしていわゆるバブル期において、一見、成熟の花を開かせた感がありました。しかし、当時を今振り返ってみると、あの現象はインテリアの表面的部分のみの成熟だった事に気が付きます。つまり、様々なメーカーの商品を好きなように組み合わせ、高いお金を払って実現させていただいただけだったと言う事です。不景気と呼ばれる現在、インテリアの質的内面に人々の興味が向かってきています。例えば「癒しの空間」「人にやさしいインテリア」「超抗菌〇〇」「清潔な〇〇」等々。新しい価値が商品のようにコントロールされ、消費者はそのまま受け入れていく…。方向性は変わりましたが、基本的な発想は変わっていないのではないのでしょうか？あなたの理想的な空間は、癒しの空間で甘やかされ続け、埃一つなく、抗菌剤にまみれ、フカフカソファでだらしない格好をするところですか？100歩譲ったとしても、そのような空間が人間的な生活をするためのもの

とは言い難いと思います。一体いつから癒しとか、やさしいとか、抗菌とか、清潔とかサギまがいの言葉に翻弄され、人間は軟弱になったのでしょうか？極論かもしれませんが正しい指摘だと思います。

消費者ニーズというものは、「便利・快適」というペールを纏って、特に戦後の歴史の中で人間を墮落させつづけてきました。そして大部分のメーカーは消費者に媚びを売りつづけてきました。こんなこと、まともな関係じゃない事は明らかです。しかし、幸運なことに最近になって中古家具の再生、飾り立てるといったインテリアの固定概念の崩壊からシンプルリッチへという流れ、日本的合理主義の再々々々評価といえる見直し等々、精神的に満足しようという方向の提案がされ始めてきました。

モノが溢れかえり、お金さえ出せば何でも手に入ってしまう現在、貧乏でも工夫をし、心豊かだった時代に今一度立ち返りませんか？そしてメーカー側、販売する立場にある人も、うわつつらだけの売れそうなモノ、こんなモノが求められているという発想をやめ、売らなければならない物を販売するという気持ちを持ってみませんか？人間が人間の機能や知恵を失ってしまう前に。

賛助会員のショールームを紹介するコーナーです。

インテリアの最新情報はもとより、インテリアギャラリーとしてご利用いただければ楽しいと思います。

あなたの快活を構成するインテリアアイテムを
妥協せずに選んでいただきたい。
インテリアセンターのショールームでは、多彩なデザインの家具と
ホームファニッシング商品等のコーディネートがじかにご覧頂けるほか
専門スタッフがおお客様の要望を伺いながらアイデアの提供やアドバイスを致します。
また、インテリアセンターは、10年で買い替えなくなる家具は作りません。
30年、50年と使うほどに手放せなくなるようなものをお
お届けするとともに、レストアのご相談も承ります。
お客様の中には20年来のお付合いという方がたくさんいらっしゃいます。
愛用の家具を張り替えたり、買い足したりしていただくのはとてもうれしいことです。



(株) インテリアセンター札幌支店

〒060-0051 札幌市中央区南1条東3丁目9-1
TEL 011-231-4445 FAX 011-210-1208
(営業時間)10:00~18:00 (定休日)水曜日

トミタチョイスから
オリジナル・セルフチョイスへ。

これまでトミタでは、各国の、合わせれば何千種類ものコレクションサンプルから、
独自の視点で選び抜いたサンプル帳を作成し、皆様にお届けしてまいりました。
そうしたセレクションの感性度は、
業界内外でも高い評価をいただけてまいりましたが、
その一方で、各コレクションのオリジナルそのものを隈なく見たい、入手したい、
そんな声が増えることになってきたのも事実です。
バイオーダーシステムでは、お客様の吟味を求める声にお応えすべく、
海外オリジナルコレクションから、自由に細かくお選びいただき、
しかも少量からお取り寄せいたします。



札幌ショールーム

札幌市中央区北1条西20丁目2-16
サントピア表参道2F
TEL 011-631-8201

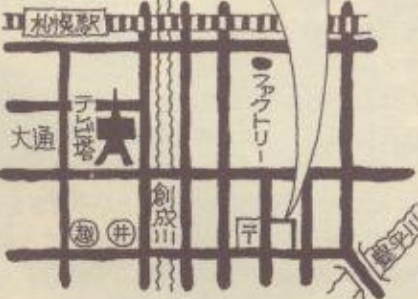
※札幌ショールームをご利用の場合
事前にご連絡いただいております。

●地下鉄東西線 西18丁目駅1番出口より徒歩8分
●JRバス 手稲方面行き北1条西20丁目バス停より徒歩1分

インテリア情報館

"PARTO"

札幌市中央区南1条東6丁目1-1
☎(011)209-1122



シンコール株式会社

コーヒー飲んで
悩んで 楽しんで



技術・資格・転職の **HDC** トータルデザインスクール



地球上には、2種類の人間がいます。デザインを創造するものとデザインを授かる者。それはたった一枚の扉に分けられているに過ぎず、つまりその扉を開くのが情熱です。頭をぐるりと回転させてみて下さい。するとこの世界はデザインで満ちていることに気がつくはず。それは街角にあり、公園にあり、コンビニの棚の上に並び、TVのブラウン管の向こうにあります。情熱が「デザインをしたい」と感性に伝達しませんか？ HDCの存在理由はただひとつ。それが我が校の目指す**Only One Design**です。



- コースご案内
- 本科**
 - グラフィックデザイン本科
 - インテリアデザイン本科
 - 福祉環境デザイン本科
 - 専攻科**
 - グラフィックデザイン専攻科
 - デジタルデザイン専攻科
 - 福祉環境コーディネーター専攻科
 - CAD設計デザイン専攻科
 - 夜間専科**
 - グラフィックデザイン専科
 - イラストレーション専科
 - デジタルアート専科
 - 福祉・心身障害者・高齢者・外国人
 - CADオペレーター専科
 - 福祉療法とガーデンデザイン専科

北海道デザイナー専門学校 地下鉄南北線 北18条駅隣

〒001-0018 札幌市北区北18条西3丁目 TEL (011)746-9301 e-mail:hdc@shurim.or.jp homepage/www.shurim.or.jp/hdc/

財団法人建築技術教育普及センター北海道支部

〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目三井生命札幌協同ビル
TEL 011-221-3150 FAX 011-221-4136

有限会社黄田印刷

オリジナリティにあふれる印刷物を生みだす一貫システム

〒064-0811 札幌市中央区南11条西17丁目1-2
TEL 011-551-0150 FAX 011-563-0073

ヤマギワ株式会社札幌店

小売・卸業(照明・家電・インテリア品・舞台照明)

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目9札幌オークビル
TEL 011-221-1321 FAX 011-261-6557

株式会社INAX札幌支社

内外装・床タイル・アーストン・(石材)・住宅設備器・給油器
(ユメックス)

〒060-0062 札幌市中央区南2条西2丁目18-1住友生命札幌南2条ビル
TEL 011-271-1701 FAX 011-271-1722

クリナップ株式会社札幌支店

総合住宅設備機器の製造販売

〒003-0023 札幌市白石区南郷11丁目北1-30
TEL 011-864-8007 FAX 011-864-7727

株式会社ヨコタ札幌営業所

ダイオキシン対策として発売致しましたエコロジー商品
ユリデイス・フリーク

〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条1-2-15
TEL 011-892-6111 FAX 011-892-6687

株式会社インテリアセンター札幌支店

家具製造販売・インテリアアクセサリー販売

〒060-0051 札幌市中央区南1条東3丁目9-1
TEL 011-231-4445 FAX 011-210-1208

株式会社サンゲツ札幌支店

壁紙・カーテン・カーペット・カーペットタイル

〒003-0011 札幌市白石区中央1条2丁目1-37
TEL 011-832-3111 FAX 011-832-3333

リリカラ株式会社札幌支店

壁紙・カーテン・カーペット・CF・その他床材

〒063-0832 札幌市西区豊栄12条12丁目2-20
TEL 011-666-2125 FAX 011-666-3696

株式会社川島織物販売北日本営業部

インテリア製品の製造販売

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目エスコビル
TEL 011-261-2131 FAX 011-261-2839

シンコール株式会社北海道支社

ショールーム「パティオ」でおいしいコーヒーをどうぞ!

〒060-0051 札幌市中央区南1条東5丁目1-1
TEL 011-209-0123 FAX 011-209-1131

専修専門学校北海道デザイナー専門学校

技術・資格・就職のためのトータルデザインスクール

〒001-0018 札幌市北区北18条西3丁目
TEL 011-746-9301 FAX 011-746-9334

株式会社エービーシー商会札幌営業所

内外装建築仕上材

〒060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目北海道ビル6F
TEL 011-231-7904 FAX 011-271-5840

ニッポー・コーポレーション株式会社

輸入家電品・森林浴消臭剤・ロードヒーティング施工

〒007-0837 札幌市東区北37条東18丁目1-30
TEL 011-785-4611 FAX 011-784-2770

MOLZA株式会社札幌営業所

和紙スクリーン(ブリーツ・ロール)ローマンシェード
フラワーラッピング・和紙照明・機能紙

〒060-0062 札幌市中央区南2条西9丁目サンケン札幌ビル
TEL 011-222-8118 FAX 011-222-8131

株式会社ダイヤ書房

書籍・雑誌・文具・CD・中古ゴルフクラブ買取販売
ゲーム販売・レンタルビデオ・レンタルCD

〒065-0025 札幌市東区北25条東8丁目
TEL 011-712-2191 FAX 011-752-1184

株式会社フジエキスタイル札幌

インテリアファブリックスの販売

〒001-0012 札幌市北区北12条西3丁目N12ビル
TEL 011-707-5310 FAX 011-707-5355

有限会社アシストワーク

〒062-0934 札幌市豊平区平岸4条4丁目7-3
TEL 011-817-5501 FAX 011-817-5502

大光電機株式会社札幌支店

照明器具製造販売・照明計画・演出・企画・提案

〒064-0804 札幌市中央区南4条西13-2-2
TEL 011-561-8067 FAX 011-551-9707

トーソー株式会社札幌支店

カーテンレール・ブラインド・ロールスクリーン
ブリーツスクリーン・ローマンシェード

〒003-0012 札幌市白石区中央2条3丁目3-10
TEL 011-841-3731 FAX 011-841-9926

株式会社カンディハウス札幌

〒064-0946 札幌市中央区双子山4丁目1-10
TEL 011-511-0303 FAX 011-511-0505

株式会社トミタ札幌営業所

壁紙・インテリアファブリックス

〒064-0821 札幌市中央区北1条西20丁目2-16 サントピア表参道
TEL 011-631-8201 FAX 011-621-6996

賛助会員を募集しております。

お問い合わせは、
北海道インテリアプランナー協会事務局まで

新世紀を迎えて

事務局 山田 新二



20世紀がついに先日その百年を終えました、20世紀最後の10年は私たちの協会の最初の10年でもありました。

1991年9月、現在の杉山協議会代議員を会長として、北海道インテリアプランナー協会は発足しました。当時の道内資格者800余名の5分の1の方々を会員として加わり、準会員・学生会員・賛助会員を含めると会員数228、広域レベルの組織化は全国最初のものでした。何を始めるにも初めてのケースで、理事や支部長の方々はすべて手探りのなかでよく務めを果たし、中井2代会長のもとで新しい世紀に入ってきました。

当協会の2年後に関西が、続いて各地に協会が設立され、現在10の協会とその協同体としての日本インテリアプランナー協会協議会が活動しています。各地協会はそれぞれが個性のある活動を続けていますが、やがては協議会に凝縮されてその成果が現れることを期待しています。

一方では今、私たちの協会は多くの問題をかかえています。内的には会員の参画意識向上の施策と会員の漸減対策、外的にはIPの周知、公的には資格認定制度の変更への対応などがそれです。これらはそのまま21世紀に持ち越して、解決してゆかなければならない課題です。

ミレニアムが流行語となり、世紀が変われば何もかもが変わるかの様に言われています。でも2000年が2001年になるだけ、時間は繋がっています。「捨てる世紀から活かす世紀へ」と言われる中、インテリアプランナーの力で周囲の環境を…(たとえそれがゆっくりであっても)…変えてゆくために、叡智を寄せ合い、着実な歩みで新しい世紀に踏み込んで行きませんか。

IP 2次試験の課題がつぎのとおりに決まりました。

“家族構成の変化に合わせて改修する共同住宅のインテリア”

今年の1次試験受験者は15名、ほかに前年度1次合格者がいますので、2次試験の受験者数は昨年並を予想しています。

前回は会員の石田(受験心得担当)、河村(平面計画担当)、小笠原(パース担当)の3氏が講師を務めました。事業委員会では、講習会に備えて講師を選定中です。

IPEC・21について (INTERIOR PRO EX CO 21)

“INTERIOR EXHIBITION & CONFERENCE for PROFESSIONALS”
「インテリアのプロと企業をつなぐ国際展示会とセミナー」と銘打ったこの催しは、

インテリアからの発信 健康な環境へ

をテーマに、2001年から5年間にわたって東京ビッグサイト国際展示場で開催されます。

21世紀が直面する「環境問題」を語るいくつかのキーワードをもとにサブテーマを設け、出展者がそのテーマの中で環境問題を捉えて新たな考え方・技術として具体化し、提案してもらうことを意図したものです。

各協会はプロとして積極的に参加する一方、関係する周囲に出展を呼びかけるなどの動きをすることになります。

当協会ではプロジェクトチームを編成して今後の具体的活動を決め、会員の皆さんのご協力をいただくこととなりますので、よろしくお願いします。

新会員のご紹介

- <準会員> office AtoZ 坂本知咲采さん
〒003-0021 札幌市白石区栄通14丁目2-45 3-402 TEL 011-851-4894
- <賛助会員> シンコール株式会社 北海道支社
〒060-0051 札幌市中央区南1条東5丁目1-1 TEL 011-209-0123
大光電機株式会社 札幌支店
〒064-0804 札幌市中央区南4条西13-2-2 TEL 011-561-8067
有限会社 アシストワーク
〒062-0934 札幌市豊平区平岸4条4丁目7-3 TEL 011-817-5501

postscript

編集後記

- この新世紀号を発行出来た感謝を情報委員の皆様へ……………(佐野高光)
- 今回は新メンバーでとても楽しい編集会議でした……………(T.O)
- IPニュースで終り、IPニュースで明けます……………(里見好枝)
- 20世紀の思い出の上に21世紀の夢を翻りましょう……………(渡辺治美)
- 徳をためるつもりが欲が深いせいか、腹に名をためてしまった
皆さん健康第一で頑張りましょう……………(小野 悟)
- 進化するIPニュースにこれからも注目!……………(島山めぐみ)
- なぜか情報委員に…。皆様にごこまでもついて行きま〜す……………(塚本由美子)
- 自由すぎるインテリアにあきてしまいました。今年30歳です……………(山下和良)

- 発行日 2001年1月
- 発行者 北海道インテリアプランナー協会
〒005-0013 札幌市南区真駒内緑町1丁目2-3-508
☎(011)582-6725 FAX(011)582-6725
- 編集 情報委員会
佐野高光、伊藤 寛、小笠原利治
里見好枝、渡辺治美、小野 悟
島山めぐみ、塚本由美子、山下和良
- デザイン (株)アイ・エヌ・ジー
〒001-0014 札幌市北区北14条西4丁目 INGビル2F
☎(011)747-7928 FAX(011)747-1918
- 印刷 三陽印刷(株)
〒063-0061 札幌市西区西町北15丁目1-12
☎(011)661-2311 FAX(011)669-2158